社会 データ編

2 労働安全衛生・保安防災

労働安全衛生マネジメントシステム※

当社大阪工場および千葉工場において、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格である「ISO45001」、ならびにISO45001（JISQ45001）に日常の安全衛生活動などに関する要求事項が追加された国内規格である「JISQ45100」の認証をJISHA（中央労働災害防止協会）より取得し、運用を行っています。他事業所においても、ISO45001／JISQ45100の認証取得に向け準備を進めています。

当社では、2009年度までに全ての工場・研究所においてJISHAよりOSHMSの認証を取得しましたが、その後、一部の事業所で自主的運用に切り替え、現在、2工場（5事業所）、1研究所が認証取得を継続しています（JISHA方式のOSHMSはOHSAS18001の要求事項を包含しています）。

※ 労働安全衛生マネジメントシステムの適用範囲：当社工場・研究所で働く社員（嘱託、パート・アルバイト、派遣社員を含む）

JISHA（中央労働災害防止協会）ウェブサイト

（和文） https://www.jisha.or.jp/about/index.html

（英文） https://www.jisha.or.jp/english/index.html

■ ISO45001／JISQ45100認証取得状況（住友化学）

事業所名	登録番号	取得年月
大阪工場	ISO45001：JISHA-O-31	2020年4月
同上	JISQ45100：JISHA-31	2020年4月
千葉工場	ISO45001：JISHA-O-61	2021年6月
同上	JISQ45100：JISHA-61	2021年6月

■ JISHA方式OSHMS認証取得状況（住友化学）

事業所名	登録番号	取得年月
大分工場（歌島）	09-27-14	2009年 1月
大分工場（岐阜プラント）	09-21-6	2009年 2月
大分工場（岡山プラント）	09-33-7	2009年 2月
大分工場	06-44-1	2006年 7月
大江工場	10-38-4	2010年 3月
健康・農業関連事業研究所	07-28-9	2007年 1月

社会 データ編

大臣認定に基づく高圧ガス自主保安管理

住友化学は、愛媛工場および千葉工場において「高圧ガス保安法」に基づく「認定（完成・保安）検査実施者」の認定を継続的に更新しています。この認定は、保安管理技術レベルが優れ、法で規定される保安管理システムの要件を満たすと認められた事業所に与えられます。この認定を取得した事業所は、国や県などの行政機関に代わって、自らプラントの完成検査や保安検査を実施することができます。

■「認定（完成・保安）検査実施者」取得状況

工場	地区	認定開始年	認定更新年月	認定施設数
愛媛工場	新居浜	2002年	2018年3月	13
	菊　本	2002年	2018年3月	4
千葉工場	姉　崎	1987年	2019年5月	8
	袖ケ浦	1987年	2019年5月	15

（注）認定施設数は認定更新時の数値

社会 データ編

休業無災害表彰基準と実績（2021年5月末現在）

住友化学従業員および協力会社従業員に対して、事業所ごとに休業無災害継続時間の基準を設定し、各基準を達成することにより「社長安全表彰」を行っています。

■ 住友化学（工場、研究所）従業員

事業所名	社長安全表彰基準※1	基準達成状況
愛媛工場	300万時間	2020年7月に休業災害発生、休業無災害300万時間に向けて活動中
大江工場※2	300万時間	休業無災害600万時間に向けて活動中
千葉工場	300万時間	休業無災害600万時間に向けて活動中
大阪工場	300万時間	休業無災害2,100万時間に向けて活動中
大分工場※3	150万時間	休業無災害300万時間に向けて活動中
三沢工場	30カ月	2020年2月に休業災害発生、休業無災害30カ月に向けて活動中
健康・農業関連事業研究所	30カ月	休業無災害60カ月に向けて活動中
筑波地区研究所※4	30カ月	休業無災害390カ月に向けて活動中

■ 住友化学（工場、研究所）内の協力会社従業員

事業所名	社長安全表彰基準※1	基準達成状況
愛媛協力会（保全）	24カ月	2020年9月に休業災害発生、休業無災害24カ月に向けて活動中
愛媛協力会（物流）	24カ月	2019年6月に休業災害発生、休業無災害24カ月に向けて活動中
大江協力会（保全）	48カ月	休業無災害192カ月に向けて活動中
大江協力会（物流）	48カ月	休業無災害192カ月に向けて活動中
千葉協力会（保全）	24カ月	2020年10月に休業災害発生、休業無災害24カ月に向けて活動中
千葉協力会（物流）	24カ月	2020年3月に休業災害発生、休業無災害24カ月に向けて活動中
大阪協力会	24カ月	2020年10月に休業災害発生、休業無災害24カ月に向けて活動中
大分協力会	24カ月	休業無災害144カ月に向けて活動中
岡山協力会	48カ月	2020年11月に休業災害発生、休業無災害48カ月に向けて活動中
岐阜協力会	48カ月	休業無災害144カ月に向けて活動中
三沢工場	48カ月	2019年9月に休業災害発生、休業無災害48カ月に向けて活動中
健康・農業関連事業研究所	48カ月	休業無災害288カ月に向けて活動中
筑波地区研究所※4	48カ月	休業無災害144カ月に向けて活動中

※1 休業無災害継続時間
※2 住化アッセンブリーテクノ株式会社を含む
※3 歌島試製部、岐阜プラント、岡山プラントを含む
※4 先端材料開発研究所（筑波）とエネルギー・機能材料研究所（筑波）

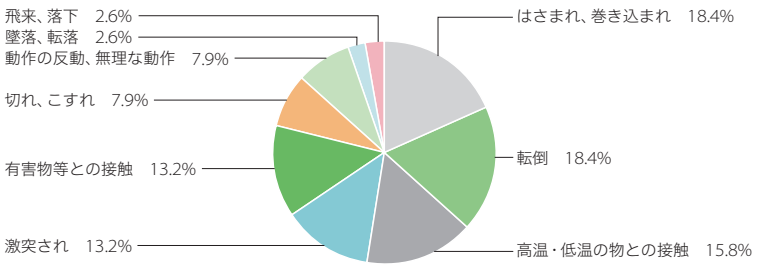
社会 データ編

安全成績

■ 休業災害発生状況（住友化学グループ※）

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
件数	17	35	27	39
度数率	0.26	0.58	0.42	0.45
死亡災害件数（契約社員以外）	2	1	0	0
死亡災害件数（契約社員）	0	1	0	0

■ 2020年度 休業災害の型分類（住友化学グループ※）

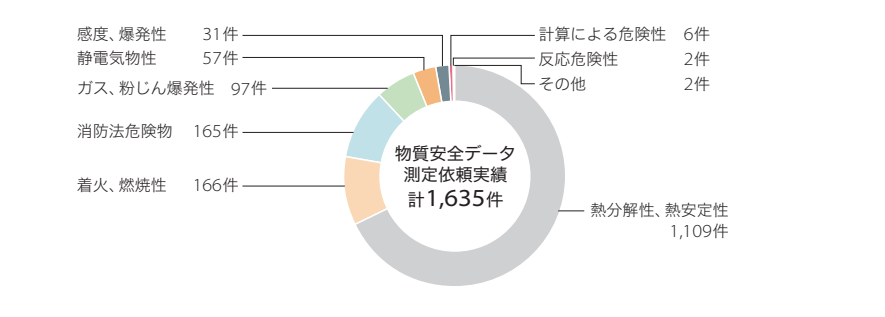


※ 労働安全衛生におけるグループの定義を2020年度に変更
～2019年度：住友化学（協力会社、その他を含む）および国内外連結経営会社
2020年度～：住友化学（協力会社、その他を含む）および国内外連結子会社

社会 データ編

保安防災実績

■ 2020年度 物質安全データ測定依頼実績（住友化学グループ※）



※ 住友化学（協力会社、その他を含む）および国内外連結経営会社

生産安全基盤センター安全工学グループでは、化学プロセスの火災・爆発の災害防止のため、プロセスの安全性の検討・評価と安全対策の研究、物質安全データの測定と評価の研究、保安技術の蓄積とそのデータベース化、安全技術者の育成などを行っています。2020年度の物質安全データ測定依頼件数は、住友化学内からは1,566件、グループ会社からは69件、合計1,635件でした。

■ プロセス安全検討会議の開催数（住友化学）

	研究開発段階		工業化段階		
年度	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
2017	25	19	27	88	47
2018	24	38	27	91	24
2019	25	17	30	67	21
2020	26	28	16	91	22

住友化学では、新規プロセスの開発時、研究開発から工業化の各ステップで「プロセス安全検討会議（レベル1～5）」を開催し、プロセス安全性の評価結果や安全対策が適切であることを確認しています。

■ 保安情報データベース（住友化学）

	件数	（2020年3月末比）
防災技術情報	20,693	（540増）
事故原因調査	2,525	（80増）
事故情報	20,903	（126増）
2021年3月末現在	44,121	（746増）

国内外の事故情報を収集し、その抄録をデータとして登録しており、2021年3月末現在で44,121件（2020年3月末は43,375件）のデータが収録されています。各工場や研究所の従業員全てが、各自の端末から登録情報を検索できるシステムです。これらの保安情報は、プロセス危険性評価、事例検討による類似災害の防止などに活用しています。また、事故などの必要な情報をグループ会社へも提供しています。